

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2022

3月中旬～4月中旬

みごろスタンプ
園内に
ミニスタンプ
があるよ。
さがしにいこう！



いきもの



ニホンアカガエル(幼生)(アカガエル科)

天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか、マークの所を探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。



ツバメ(ツバメ科)

昔からツバメの鳴き声は「土食って虫食ってちほい」と言われます。巣を作るために土をせっせと集める様子から、こんな言葉が生まれたのかもしれません。



ウグイス(ウグイス科)

「ほーほけきょ」と春の訪れを告げる鳥。うつくし色といえは鮮やかな黄緑色のことだけど、本物のウグイスは地味で目立たない色をしています。

タンポポいろいろ

園内にはいろいろなしゅるいのタンポポが咲きます。探してみよう。



カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ



シロバナタンポポ

春の味覚

ヨモギ(キク科)

早春から晩秋まで年中みられる野草。よもぎ団子にして食べる他、薬やお灸の材料にもつかわれます。



ツクシ(スギナ)(トクサ科)

「つくしんぼ」は、スキナの春のすがた。坊主頭のような形がかわい植物です。晴れた日には、その頭から胞子を飛ばします。



キブシ(キブシ科)

小さな花が房になって垂れ下がり、まるでかんざしのような花を咲かせる木です。



ヤマウグイスカグラ(スイカズラ科)

この花が咲くと「ウグイスがお神楽を踊る」というのが名前の由来だそう。昔の人も、春の訪れを喜んでいたのでしょね。



ナガバナタチツボスミレ(スミレ科)

園内でよくみられるスミレの一種。この他にも色や形の違うさまざまなスミレが園内各所でみられますよ。



ホトケノザ(シソ科)

春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつけました。



田畑のまわり

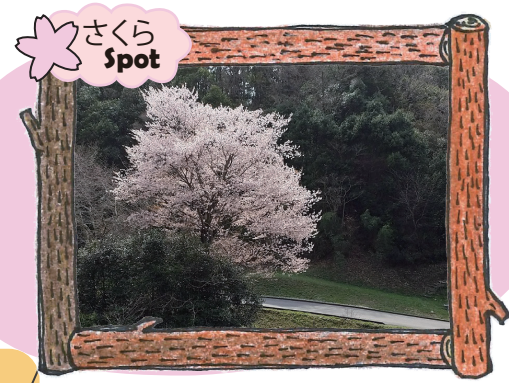
タネツケバナ(アブラナ科)

ナスナによく似ていますが、茎からのびる果実の部分の形が違います。晴れた日、はちはちと音を立てて果実が割れ、たねを飛ばします。



ヤマザクラ(バラ科)

園内のサクラの中でもいち早く咲くサクラ。花と一緒に紅い新芽も顔を出し、早春の里山をいろとります。(4月上旬)



--- 季節のおすすめ散策コース ---
(ゆっくり歩いて1時間)
--- おてがるコース ---
(ゆっくり歩いて30分)

